

岩手銀行中ノ橋支店

重要文化財

(岩手銀行(旧盛岡銀行)旧本店)

設計:辰野・葛西建築事務所

竣工:明治44年(1911)

住所:岩手県盛岡市中ノ橋1丁目2-20

交通:JR盛岡駅徒歩15分



この建物が面している十字路「札の辻(ふだのつじ)」は藩政時代、公儀からのお触れの高札や藩の布告を掲示する御札所であった。また、中の橋は、盛岡城と町の交通のために慶長16年(1611)に架けられ、昭和31年(1956)に現在の橋に架け替えられたという歴史を持つ。

かくも歴史的に由緒正しい場所に盛岡銀行本店として明治44年(1911)に竣工した。その後、岩手殖産銀行 岩手銀行本店となったが、手狭になった為、昭和58年(1983)新本店建築・移転の際に中ノ橋支店となった。

設計は明治建築界の大御所、辰野金吾と、その愛弟子で盛岡出身の葛西万司【かさいまんじ・文久3年(1863)～昭和17年(1942)】の両氏。いわゆる「辰野式」の典型の一つで、赤煉瓦の小口積みと白い花崗岩の帯が引き締めている。さらにスレート屋根に銅板押しを施し、ドーマー窓を配するなど、にぎにぎしい外観である。内部の装飾も素晴らしく、保存状態もよいので、ここを訪れるときは、ぜひ、平日を選び、内部も見学することをすすめる。

昭和52年(1977)に盛岡市の保存建築物第1号指定を受け、さらに平成6年(1994)には国の重要文化財の指定を受けた。

この文書の著作権は株式会社富士通アドバンスソリューションズが保有します。許可なく複製、転用、販売などの二次利用することは禁じます。

雑誌書籍、広告など出版物への掲載にあたっては、お手数ですが、事前にご連絡願います。